

令和3年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。 2 挨拶や返事が苦手な生徒がやや多い。 3 細部まで気を配り、行き届いた清掃ができる生徒はそれほど多くはない。 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分な生徒がいる。
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日	令和4年2月4日
学校関係者評価実施日	令和4年2月4日

学校関係者評価委員会の構成	PTA役員
---------------	-------

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価			学校関係者評価		総括	
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策
1	遅刻をしない	時間遵守を呼びかけ生徒同士でも注意し合う。遅刻をする生徒に関しては、家庭と連絡を取り合い対処法を面談等で話し合う。安心して学校に来られるように全教員で声掛けをする。授業準備の指導を強化し、開始前に準備を済ませ待つ体制をとれるようにする。休み時間の巡回等が必要に応じて行う。	ほとんどの生徒は遅刻せずに登校できている。特定の生徒の遅刻に対しその都度指導したがなかなか改善されない場合があった。授業開始前の準備態勢は概ねできているが、習慣化しつつある学年がある一方で、生活に慣れるに従い遅れが目立つ学年もあった。	A	「時間の大切さを家庭でも話している」「朝ギリギリの時間でも急がず歩いている生徒を見かける。時間に余裕を持って行動してほしい」「学校と家庭と連絡を取り合えばいい」「先生が校門に立ち挨拶・声がけている姿を見聞きする。励まされていると思う」	時間を守ることの意味や大切さを理解し実行していけるよう、今後も継続して注意を促していく。遅刻する一部の生徒に対しては家庭の理解と協力を得ながら具体的な改善策を面談等で話し合い指導していく。休み時間の巡回等を行う。
	さわやかな身だしなみ	服装指導を朝・帰りのHR、授業前に行う。生徒会とも連携を図り生徒同士が服装についても注意し合う。見た目や清潔感に気を配る意識を持たせ、指導が必要な生徒には本人や保護者と話し合い理解を得ながら改善していく。進路指導や保健指導、家庭科の授業も活用し理解を深めていく。	服装が大きく乱れている生徒はおらず大方達成できている。男子のワイシャツのボタンが留められていなかったり、女子のリボンがゆるくぶら下がっている様子が見られた。少数の特定の生徒に寝ぐせがあったり髪や眉に加工を加えたりする様子が見られた。	A	「身だしなみが気になる生徒は見かけない」「爽やかできちんとしている」「清潔感のある生徒が多いように見受けられる」「きちんと指導されている。身だしなみの乱れは生活の乱れにつながるのでも今後は指導をお願いします」「色々な場面で相手に与える印象を考える授業があればいい」	身だしなみを整える意味やおしゃれと身だしなみの区別等を各ガイダンスや生活・進路・保健等の指導、家庭科の授業等で話し合い指導していく。ボタンやネクタイ、リボン、頭髪等は見かけたらその都度すぐ直させる。生徒会とも連携を図っていく。
	安心・安全な学校生活	全教員・スクールカウンセラー間で生徒の情報を共有し、何かあれば会議等を開き早期に対処する。本人や家庭とコミュニケーションをとりながら生徒の特性・事情に応じて指導していく。定期的にいじめアンケートをとる。観察シートを記入する。生徒が相談しやすい環境づくりをする。必要に応じてチームティーチング等を行う。	生徒に相談事や困り事が生じた際には全教員で情報を共有し家庭とも連絡を取り合い面談等を行った。生徒の様子をよく観察しコミュニケーションをとり生徒理解に努めた。良好な人間関係を築くため軽率な言動を控え相手の気持ちを考え思いやる態度が大事であることを日々指導した。	A	「いつも生徒を気にかけてくれている」「先生方と生徒間の風通しの良さを感じる」「何かあれば連絡もったりこちらから連絡したりして相談できている」「家庭や本人の事情に合わせた対応してもらい感謝している」「他校の方がいじめ対策もかなりしっかりしている」「これからも一人一人の生徒に寄り添ってほしい」	周囲への心配り・思いやりのある言動、相手の立場に立ち考えることが大切であることをHRや部活動などあらゆる場面で今後も教えていく。教員の見守りを継続し、教員間で生徒の生活態度等の情報を逐一発信・共有し、組織的支援体制を作り話し合う場を設けて即応する。
2	きれいな校舎	掃除の時間は教員がついて指導し細部にまでこだわる目を養う。使用する人の気持ちを考え丁寧な掃除を習慣化する。開始・終了時間を意識し時間内に終わらせる。自分の役割以外のことも手伝う気持ちを育てる。クリーンアップ作戦を確実に実行し地域への奉仕意識をより一層高める。施設設備の使い方にも気をつける。	掃除の仕方を理解して行い自分の担当箇所が終わったら他を手伝う生徒がいる反面、他人任せの生徒も見られた。さぼる生徒はいないが、隅々まで丁寧な掃除はまだまだ不十分で習慣化されていない。教員が監督についてきちんと指導ができていないことがあった。	B	「校内はいつも綺麗に保たれている」「トイレも手入れが行き届き気持ち良く使いました」「掃除は真面目に行っているようだ」「綺麗な花壇で気持ちいい」「生徒が近隣のゴミ拾いを定期的に行い地域貢献している姿を見てすごいと思う」「清掃を通して相手と協力し合い気持ち良く生活を送る大切さをわかってほしい」	新年度の早い段階で掃除の仕方や注意点、細部とはどこまでなのかを詳しく説明する。教員がついて丁寧な掃除が習慣化できるよう指導する。責任、協働、奉仕、忍耐などの心を清掃活動を通して育てる。行事や来客がある時にはおもてなしの心を大切にす。
	元気な挨拶	自信を持ち笑顔で元気な挨拶・心を込めた挨拶ができるよう教職員が手本となり共に活動する。HRや授業、集会、職員室の出入り等の場面で姿勢・態度も含めて挨拶を徹底し進路を意識した生活を心がける。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。お客様が来校した時にはさらに積極的に挨拶する。	部活動の生徒を中心に元気よく挨拶できる生徒が増え全体的には良くなっている。外部活動時や来客時に外部の方から挨拶をほめられることが多くなった。全体での挨拶はできるが一人になるとできない生徒もいる。職員室の入退室時にははっきりとした声で挨拶できていない生徒が見られる。	B	「来校すると元気に挨拶してくれてすがすがしく感じた」「恥ずかしがる生徒もこちらから声をかけると返事してくれた」「先生方が率先して挨拶を心がけているように感じた」「他校生は帽子をぬぎ一礼してくれるが向陵ではおじぎをあまり見ない事がない」「恥ずかしならせめて会釈ぐらいはできる指導をしてほしい」	普段のコミュニケーションを大切に、学校全体として笑顔で爽やかな挨拶をする雰囲気や教員・生徒一緒につくっていく。TPOに応じた挨拶ができるようHR等で練習する。就職・進学等、進路を意識した生活を心がけ挨拶と一緒に会釈等もお辞儀等の作法も指導する。